

かざね  
四万十の風音

しん せん  
森&川だより

西土佐産業祭に

「かんたん木工教室」で参加

11月12日（日）、四万十市西土佐用井<sup>もちい</sup>の西土佐中学校において第9回西土佐産業祭  
が4年ぶりに開催されました。

当センターは、「かんたん木工教室」としてブースを出しました。

イベント開始前には、当センターのブースに四万十市の中平市長がこられ、「産業祭  
を盛り上げていただきたく、よろしくお願ひします。」とお声がけいただき、老若男女  
延べ150人以上にイスノキ製のマイ箸作りやスギ板製のクリスマスリース作りなどを  
楽しんでいただくことができました。

会場には四万十川流域の「うまいもの商店街として」地元グルメが多数出店し、農林  
水産物等の展示・即売会や漬物コンテスト、各種体験・相談ブースなども設けられ、盛  
り沢山の内容でした。ステージでは太鼓演奏や西土佐中学校音楽部の演奏なども行われ、  
終日賑わいました。

主催者発表ですが、約2千人の方々が来場したこの産業祭を通じ、地元との結びつき  
を深め、四国森林管理局の果たしている役割や仕事のPR、更に木材の魅力や森林の大  
切さを効果的に伝えられた晩秋の一日となりました。

木材利用促進ウッドチェンジロゴ





ブースの様子



かんたん木工教室の様子



かんたん木工教室の様子



パネル展示(サルトリイバラを飾ったよ)



＼(^\_^)／イスノキ製のマイ箸できたよ



＼(^\_^)／クリスマスリースできたよ

# 土にすむ生物と山・川・海のつながりを

## 学習(東中筋小学校)

11月28日、四万十市立東中筋小学校の六年生4名を対象に「土にすむ生物と山・川・海のつながりについて」の学習を実施しました。

なお、同学校の近くにはナベヅルの越冬地があり、生徒達は「四万十つるの里づくりの会」の指導を受けながら、エサ場となる水田の環境整備や「デコイ」（ツルの模型）を設置するなど、より多くのツルが飛来するよう地域ぐるみで環境教育に力を入れているそうです。

土にすむ生物と山・川・海のつながりの学習で、学校の畑や花壇の土を試料とし、スクリンに映しだせる顕微鏡を使い普段は目に見えない土の中の小さな生き物が活発に動いている様子を全員で観察しました。そして、その生き物達の存在に気づくとともに、その生き物たちが豊かな土を作るために大切な働きをしていることを学習してもらいました。

また、この時放送予定であったNHKの番組「地球沸騰化の世界」を紹介しつつ、海洋のマイクロプラスチックの影響や森林との関わりなどの環境問題は、私達の生活に直接関わっていること、山・川・海がエンドレスにつながり、物質循環や食物連鎖で生き物どうしの関わりや命の営みが行われていることを説明しました。(担任教諭によると理科の授業で六年生は学習したばかりなので復習になったとのことでした。)

後日、学校から教職員アンケートと児童の感想文の送付があり、「顕微鏡の観察で、トビムシ(シロアリに似た虫で児童が図鑑で確認)がピョンピョン跳ねるのが見えたので



メッチャおもしろかった。」「五年生の時に受けた当センターの同学習より理解ができた。」などの感想があり、学校からも、「子供たちは楽しく山や森、川や海のつながりについて考えることができていました。」と評価いただきました。

当センターでは、学校からの要請に応じ、学習指導要領や教科書ともリンクした体験（実験）、体感できる森林環境教育を進めていきたいと考えています。



座学の様子



座学の様子



試料を確認、観察準備中



顕微鏡で試料を観察





スクリーンに試料を映して観察



スクリーンに映る微小生物



四万十川 木ふれあい推進センターのみなさまへ

東中筋小 6年より

森林教室実施後のアンケート (教職員用)

場所：四万十市立東中筋小学校 今回の教室を踏まえ、今後の森林環境学習をより効果的に実施するため、先生方の貴重な意見・感想をお聞かせ下さい。

1. 今回の教室について (○を記入して下さい)

講義内容	知識・技能 は内容を理解できた と思いますか		4年生に とっては内容は 難しいですか		講義時間と おこなった 作業は		授業(後 科)と関係 づけは		意見・感想
	十分 理解 できた と思います	もう少し 理解 できた と思います	満足 する と思います	満足 しない と思います	満足 する と思います	満足 しない と思います	満足 する と思います	満足 しない と思います	
土中の生き物について	○								木の葉が落ちて、それが土の中に入り、微生物によって分解されて、また木の葉になる。という循環が、とても興味深いです。また、木の葉が落ちて、それが土の中に入り、微生物によって分解されて、また木の葉になる。という循環が、とても興味深いです。

2. 授業・生徒の感想。

3. 森林学習が、多くの教員に入っていると思います。来年度の教室は、この学年の科の教科に関連していますか。  
例えば、4年(社会) 森林の働き、(国語) 木が育つまでの成長、5年(社会) 森林の役割(大日本国語)

4年(社会) 水はじから 6年 植物の成長と木の種類、生物のしくみまで

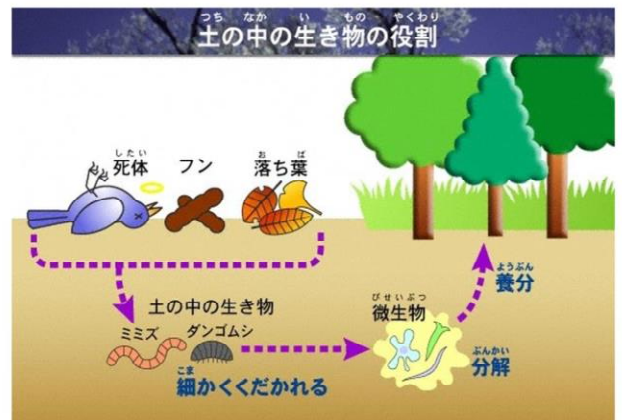
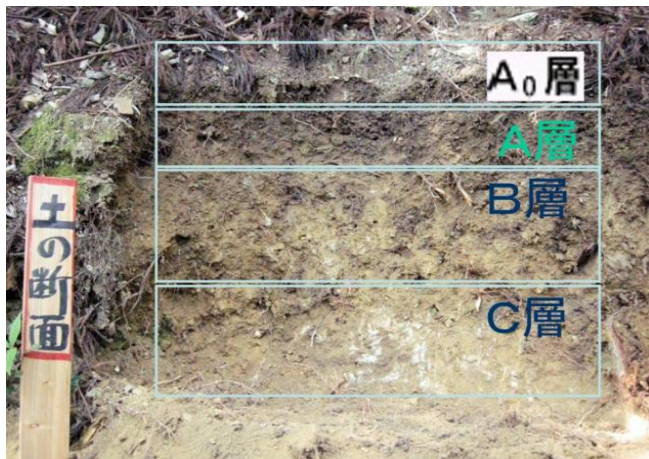
4. 今回の教室に向けて

(1) 希望する内容や資料。  
例) 全体的な森林環境学習のイメージを伝えるための教材、(出来れば、学習指導要領及び教科書の関係についても)

子どもたちは、葉のしくみ、山や森、川のつなぐ役割について考えることができました。  
感想を書いた手紙を寄っています。喜んでくれたので嬉しかったです。

(2) その他

子どもたちは夢中になって工場生物採集で、土中の生き物の観察もついでにできて、ありがとうございました。





## 小学校六校で森林環境教育を実施

松野東小学校、東中筋小学校、平田小学校、

西土佐小学校、中村小学校、上川口小学校

当センターでは各学校からの要請により、11月から12月にかけて愛媛県松野町立松野東小学校三・四年生11名、高知県西部の四万十市立東中筋小学校一～四年生27名、宿毛市立平田小学校の一～六年生62名（3日間に分散して実施）、四万十市立西土佐小学校の二年生14名（当センターのある旧西ヶ方にしがほう小学校で開催）、四万十市立中村小学校の二年生41名、黒潮町立上川口小学校一～六年生45名を対象に計8回の森林環境教育等を実施しました。

森林教室については、東中筋・平田・中村小学校では、紙芝居「森林やまからの贈り物」の教材を使い、森林の大切な役割の学習を実施しました。また、上川口小学校では、地域で地球温暖化防止の取り組みを推進しているグループ「うみのこども」の村上さん、中谷さんの協力の下「森のやさしさについて」と題して、森と人間とあらゆる生き物など、お互いが助け合い、たくさんの優しさが一つになり大きな森という自然が出来ているという説明を行いました。

木工教室については、松野東・東中筋・平田・西土佐・中村小学校では、スギ板を使用したクリスマスリース、大きな松ぼっくりを使用したクリスマスツリー、また、ヒノキ板を使用した四季の壁掛け作りを行いました。スギやヒノキが家を建てる時の主な材料として使われていることや作る際の注意点などの説明の後、色々な形に切り抜いた材料とリースに見立てたスギ板の円盤などに自由に着色し、学校行事の「秋みつけ」で拾った木の実などの自然素材とビーズなどで装飾して思い思いの作品を完成させていまし

た。

松野東・平田小学校では、「木の鉛筆作り」を実施しました。ヤマザクラ、クロモジなどの自然木に穴を開け、鉛筆の芯を入れ、ベルトサンダーで削り、大きな鉛筆を作る作業です。クロモジを削るとまるでお香のような上品な匂いが付近に漂いみな驚いていました。また、上川口小学校では、ヒノキ板を、お正月、お雛様、五月人形、ビック鯉をテーマとして切り抜いたものに自由に着色し、自然の素材等で飾り付けしてから、ヒノキの角材の台座に貼り付けました。置物や壁掛けなどにアレンジ可能な工作で、児童は思い思いの作品を楽しく作成していました。

実施後にいただいた教職員アンケートや児童達の感想文には、「気に入った作品が出来て、とっても楽しく有意義な時間だった。」「作品を家にすぐ持って帰り家族に見せたい。」「木によっていろいろ匂いが違うことがわかった。」「木などの自然の物を使って物づくりをすることで、森林や木を大切にしたいなという気持ちになった。」などと書かれ、森林や木に関心をもってもらえたと思います。

今回の森林環境教育を通して、友達と一緒に木を利用して作品を作ったことが楽しい思い出となり、リビングや玄関に長く飾られることで、木材に親しみを感じ、自然と木材の良さを再認識してもらえるものと思います。

当センターでは、このように学校の要請に応じた森林環境教育の出前講座を通じて、森林への理解の向上や木育に資する取組を展開しています。





木工クラフト製作（松野東小、三・四年）



木の鉛筆作り（松野東小、三・四年生）



木工クラフト製作（東中筋小、一～四年生）



作り方等の説明（東中筋小、一～四年生）



木の鉛筆作りの様子（平田小、五・六年生）



木の鉛筆作りの様子（平田小、五・六年生）





できたよ（平田小、三・四年生）



紙芝居の様子（平田小、一・二年生）



木工クラフト製作（西土佐小、二年生）



木工クラフト製作（西土佐小、二年生）



森林・木工教室開始時（中村小、二年生）



木工クラフト製作（中村小、二年生）





木工クラフト製作（中村小、二年生）



葉っぱのパウチ（中村小、二年生）



森林のはたらきを説明（上川口小、全校）



森のやさしさのお話（上川口小、全校）



木工クラフトの様子（上川口小、全校）



五年生からの質問に回答中（上川口小）



いろいろできたよ





## 年間を通した森林環境教育の最終回

### は炭焼き体験

### 松野西小学校・松野東小学校

愛媛県松野町立松野東小学校の三・四年生及び松野西小学校の四年生を対象とした、年間を通した森林環境教育(各5回程度)が今年度は炭焼き体験で最後となりました。

12月7日に松野東小学校、1月19日に松野西小学校において、身近な材料を用いた炭焼き体験を実施しました。

はじめに教室で、炭の種類や利用方法、炭の特性についての学習を行った後、校庭での炭焼き体験に移りました。児童たちはセンター職員から手順や注意点を聞き、ブリキ缶の中に各児童が用意した思い思いの葉っぱや木の実等を入れ、隙間にモミ殻を詰めて、ドラム缶の焚火の中に並べて焚火の熱で炭になるかの実験です。また、アルミホイルに包んだサツマイモも投入し炭になるかどうかを試します。

炭になるまでの待ち時間は、白炭や黒炭、オガ炭、竹炭などの色々な炭の実物により各々の特徴を観察しました。白炭や黒炭を万力挟んで順番にノコギリで切断すると硬い白炭だけは一人では切断できない児童もいます。交代しながら協力して切断することで硬さや断面の違いを学習しました。

炭焼き実験開始から約30分経過した後、ブリキ缶を冷ましてゆっくり開け、化石発掘の様にモミ殻を除けると葉っぱ、木の実、折り紙、木片などがちゃんと「炭」になっていました。実験は成功です。サツマイモは皮の表面だけが黒く焦げ、炭にはなっていませんでしたが、ほくほくの焼き芋となり、すごくおいしかったそうです。

児童の代表から「一年間色々な体験学習を通して楽しく学ぶことができました。ありがとうございました。」とお礼の挨拶がありました。

後日、学校より教職員アンケートと児童の感想文の送付があり、感想文には、「折り紙がとってもきれいな炭になってうれしかった。」「土の中の生き物の観察が一番わくわくした。」「担当した校庭の樹木の名札の絵を書くのが楽しかった。」など児童の感想は様々でしたが、年間を通した森林環境教育で森林を学び木と親しんだことにより、森林や自然環境への理解が一層深まったと思います。



炭のお話（松野東小学校）



炭焼きの準備状況（松野東小学校）



炭の取り出しの様子（松野東小学校）



失敗の芋炭はおいしい？(松野東小学校)



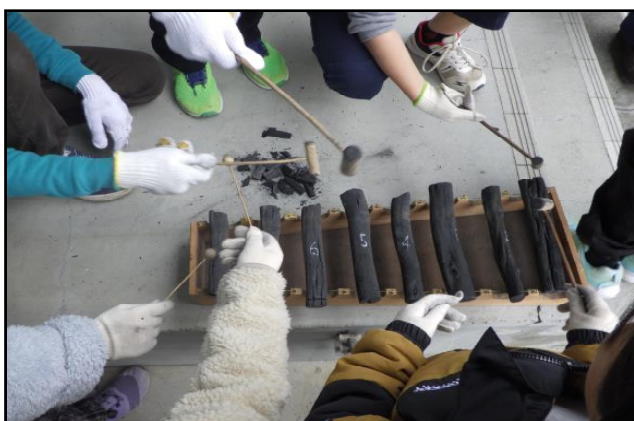




炭焼き体験の準備状況（松野西小学校）



簡易な炭焼きの状況（松野西小学校）



白炭の音色は？（松野西小学校）



いろいろな炭の切断実験（松野西小学校）

### 炭になったよ





## 小学校三校で森林環境教育を実施

### 中村小学校、山奈小学校、大月小学校

1月22日、23日、四万十市立中村小学校の一年生（1組と2組、2日間に分けて実施）、52名、2月6日、宿毛市立山奈小学校三年生9名、2月15日、大月町立大月小学校二年生15名を対象に計4回の森林環境教育「森林・木工教室」を実施しました。

三校では、紙芝居「森林からの贈り物」の教材を使い、森林の大切な役割の学習を実施しました。

紙芝居のページをめくる中で、「私たちの生活のあらゆる場面で欠かせない木や木材は、家を建てる時の主な材料となっていますが、皆さんのまわりで木が使われているものにはどんなものがありますか。」と質問をしたところ、児童たちは皆元気にいっぱい手を挙げて「鉛筆、教科書、ノート、机、トイレットペーパー」などと答えてくれました。

紙芝居を通して、木や木材は私たちの暮らしを豊かにしてくれる物であると同時に森林が私たちの生活に無くてはならない物を生み出し、清らかで豊かな水を育み、空気をきれいにしてくれるなど大切な働きをしていることを理解してもらいました。

そのうち中村小学校一年生には、樹木の冬芽が春の芽吹きに備えて前の年から芽(葉っぱと花の赤ちゃん)を準備している様子（ふゆめがっしょうだんの絵本の話）を学んでもらいました。

また、「学校の校庭には、キンモクセイ、ムクゲ、プラタナスなどのたくさんの樹木が植えられており、四季による変化(葉っぱの変化や花が咲きタネが飛ぶこと)や虫などが生息していること、花の蜜や虫、木の実などを求めているいろいろな鳥たちもやって来る

ので、通学路や運動場から日々観察してみたら楽しいと思います。」など説明し樹木に感心をもってもらいました。

三校では、ヒノキ板を、お正月、お雛様、五月人形、ビック鯉と春の訪れを感じる題材に切り抜いたものに自由に着色し、自然の素材等で飾り付けしてから、ヒノキの角材の台座に貼り付けました。置物や壁掛けなどにアレンジ可能な工作で、児童は思い思いの作品を楽しく作っていました。

また、山奈小学校では、「オリジナル鉛筆作り」を体験してもらいました。ヤマザクラ、ミズメ、クロモジなどの自然木に穴を開け、鉛筆の芯を入れ、ベルトサンダーで削り、大きな鉛筆を作る作業です。クロモジを削るとまるでお香のような上品な匂いが付近に漂いみな驚いた様子でした。

児童達の感想文には、「紙芝居が面白かったし、山の大切さがわかった。」「木からこんなすごい作品が作れてびっくりした。もっと作りたかった。」「木によっていろいろ匂いや肌触りが違うことがわかった。」などと書かれており、森林や木に関心をもってもらえたと思います。

中村小学校の教職員アンケートでは、「紙芝居や、学校の図書で読んだことのある絵本の読み聞かせ等、一年生にとって魅力を感じるしかけがたくさんあって、とてもわかりやすかった。」と評価していただきました。「次回は、季節に関する単元が一年(生活)にあり、子供たちがどんぐりに興味があるので、どんぐりができる木の紹介や種類についても教えてもらいたい。」との要望がありました。

今回の森林環境教育を通して、友達と一緒に木を利用して作品を作ったことが楽しい思い出となり、リビングや玄関に長く飾られることで、木材に親しみを感じ、自然と木材の良さを再認識してもらえるものと思います。

当センターでは、このように学校の要請に応じた森林環境教育の出前講座を通じて、森林への理解の向上や木育に資する取組を展開しています。



学習開始時（中村小、一年1組）



モクレンの冬芽を説明(中村小、一年2組)



紙芝居の様子（中村小、一年2組）



木工クラフトの様子（中村小、一年2組）



木工クラフトの様子（山奈小、三年生）



木の鉛筆作り（山奈小、三年生）





木工クラフトの様子（大月小、二年生）



木工クラフトの様子（大月小、二年生）

いろいろできたよ



中村小学校の校庭の樹木（ふゆめ）

冬芽（ふゆめ）



キンモクセイ



マサキ



ムクゲ



通学路からも校庭の樹木がよく見えるよ

## 森林環境教育の普及に向けて

高知県教育委員会事務局生涯学習課から「令和5年度第3回森林活用指導者育成研修」に係る講師派遣の依頼があり、去る1月27日に四万十川森林ふれあい推進センターの職員3名が対応しました。

この研修は、学校林等の地域の森林を活用して、保・幼の園児、小・中・高校生の体験活動を中心とした森林環境教育を推進できる人材の育成を目的に高知県が実施（全4回）しているものです。

当センターは、第3回の「森林環境教育の目的と意義・安全管理」について、地域おこし協力隊員、高知県立青少年センター職員等の参加の下、座学と木工クラフト製作の指導を実施しました。会場には、当センターの森林環境教育で使用している材料や道具、木工クラフト製作の見本を展示し、直接見て触って体感してもらいました。

座学では、「森林環境教育の目的と意義」について講義を行い、事前に配布した森林環境プログラムの冊子や年報、木工クラフト作りの手引き等の説明を加え参考としてもらいました。

木工クラフト製作では、樹皮・木目・色・匂い・形状等に特徴のあるヤマザクラやミズメの小枝や輪切り、同様にヒノキの端材等を活用したカブトムシ、クワガタムシの壁掛けや置物作り、また、ヤマザクラやクロモジなどの自然木の特徴を活かした鉛筆を作成してもらい、木に親しむなどの体験学習に必要な演習をしてもらいました。

最後に、国有林の組織として森林管理局署、森林事務所が県内の各地域にあり、森林に関する相談も受けられることや、今後、当センターと森林環境教育分野での連携等協力も可能であることの紹介、木工クラフト製作等のアイデア等の情報共有をお願いして、



今回の研修を終えました。

今後も、森林活用指導者の育成支援など森林環境教育が一層広がるように努めていきます。



「森林環境教育の目的と意義」の講義



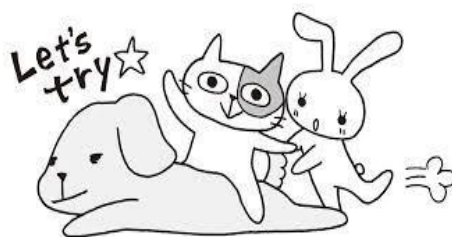
森林環境教育の実践について説明



森林環境教育、木工クラフトの演習



木工クラフトの演習（木の鉛筆を説明）





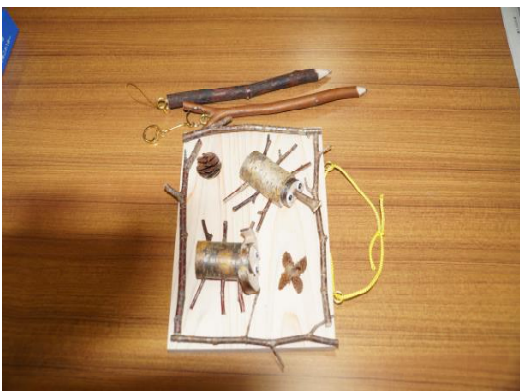


森林環境教育、木エクラフトの演習



森林環境教育、木エクラフトの演習

木エクラフトの演習で作っていただいた作品



## 環境見本市 in 黒潮町 2024 に参加

3月10日(日)、ふるさと総合センター（幡多郡黒潮町入野の土佐西南大規模公園）において、『見て、触れて、遊んで、学べる環境活動見本市 in 黒潮町 2024』が4年ぶりに開催されました。

イベントを主催する、「高知県環境活動支援センターえこらぼ」（「特定非営利活動法人環境の杜<sup>もり</sup>こうち」が運営）から、当センターが実施している自然木の幹の輪切りや小枝などを使った小物づくりが大変魅力的で、子供を対象とした環境活動にとっても適しているとしてお声がけいただき「かんたん木工教室」のブースを出し、参加しました。

参加に当たっては、四万十森林管理署の坂本次長と職員2名の協力を受け、「身近な木づかいでSDGs」をコンセプトとし、来場した幼・保児童や小学生延べ178名にスギ・ヒノキの板や角材を使用した五月人形などの置物作りや自然木輪切りや枝などを使用した「木いホルダー作り」を楽しんでもらいました。

また、森林環境教育用に制作した4種類の紙芝居（自動再生版）を会場で常時流し、多くの児童が真剣に見入っていました。

当日の会場には、見て触って、動物の骨パズル&緑のインテリア、コケリウムを作ろう！ プラごみアート（「うみのこども」小学校の出前授業で当センターと連携実施している地球温暖化防止活動推進グループの出展）、四万十ツルの里、羽ばたく折り鶴づくり、海のアロマ芳香剤づくり、小学生が書いた「環境絵日記」作品展、ダンボール巨大迷路、防災植物の体験試食会など、魅力的なプログラムやワークショップの出展がありました。また、屋外では、春の入野のバートウオッチングや入野松原ツリーウオッチングなどの



自然観察会も開催されました。

主催者発表ですが、361名の方々が来場したこのイベントを通じ、四国森林管理局の役割や実施事業のPR、更に木材・林業の魅力や森林の大切さを効果的に伝えられた春の一日となりました。

見て、触れて、遊んで、学べる  
**環境活動見本市**  
幡多のエコ大集合2024  
in 黒潮町  
令和6年3月10日(日)  
10:30 ~ 15:00  
【会場】土佐西南大規模公園  
ふるさと総合センター  
〒789-1931 幡多郡黒潮町入野 176-2  
TEL: 0890-43-3369

体験プログラム  
海のアイロム芳香剤づくり  
土佐ヒノキマイ箸づくりと四万十西染め  
見て触って！動物の骨・ハスル & 緑のインテリア コケリウムを作ろう！  
コケリウム作り  
しまんと新聞ぼくを作ろう  
環境学習・講師派遣相談コーナー

特別コーナー  
ダンボール巨大迷路  
エコ素材ダンボールを使った巨大迷路が登場！迷路に隠されたクイズに答えて、出口をめざそう！

展示  
令和5年度 高知「環境日記」作品展  
「未来につながる！わたしの推し♥」  
結束・おやつ販売コーナー  
環境学習・講師派遣相談コーナー

春の山野で自然をみつけよう！  
鳥の自然に詳しい地域の方を講師に、会場周辺の自然観察に出かけよう。  
参加費：無料 定員：各20名（先着順）  
3日（金）までに、申込みフォーム、または電話でお申込みください。  
申込み先 高知環境活動支援センター-えこ5ぽ（TEL: 089-402-7765）

バードウォッチング (10:00 ~ 12:00)  
講師：森 富美勇さん  
身近な鳥の世界をのぞいてみよう。鳥から自然環境のことも見えてきます。

講師：田城光子さん  
樹の皮や葉、形の異なる木を見てみよう。入野地区の樹材について楽しく学ぶ体験です。

高知環境活動支援センター-えこ5ぽ（運営：特定非営利活動法人 環境の杜）  
〒780-0935 高知市東三丁目115番地 こうもろ男女共済会館3階  
TEL: 089-802-7765 FAX: 089-802-2225 E-mail: center@eco5kochi.jp  
※イベント中止は発表なる場合がございます。詳しくは、本誌の紙面をご覧ください。

体験プログラム  
●海のアイロム芳香剤づくり  
BLUE BLUE  
自分だけのお気に入りアイロムをチョイスして、砂浜にある貝からビーズグラスを、小箱に詰めこんだ芳香剤を作ろう。  
参加費：600円

●土佐ヒノキマイ箸づくりと四万十西染め  
はーと・らいふ村 工藤節子さん  
土佐ノキ製材材を削って、マイ箸を作りましょう。四万十川8段の橋でハンカチなどを染める体験も。  
参加費：箸 400円、染め 400円〜いろいろ  
対象：中学生以上、先着 30名

●見て触って！  
動物の骨・ハスル & 緑のインテリア コケリウムを作ろう！  
動物の骨・ハスル  
動物の骨やハスルを見て触って遊びませんか？  
正しく並べ替えられるかな？  
参加費：無料

●コケリウム作り  
コケを小さな瓶の中に入れて、おしゃれなインテリアを作ろう！  
参加費：500円

●しまんと新聞ぼくを作ろう  
しまんと新聞ぼく高知支部  
10分でできる新聞ぼくから人気のハートぼく、レジ袋の代わりに使う犬ぼくなどお好きな形、大きさのぼくを作れます。  
参加費：200円 定員：1回4人まで

●ぼうさい植物ってなに？  
日本防災植物協会  
運ばれた校庭に生えている植物の中には食べられるものたくさんあります。体験プログラムでは火を使わずにぼうさい植物をおいしく食べてみよう。  
体験プログラム ●11:30 ~ 11:50 ●13:30 ~ 13:50  
定員：15名まで 参加費：無料

●身近な木づくいで SDGs  
四国森林管理局  
四万十川森林ふれあい推進センター  
オリジナル「木いホルダー」を楽しもうね。  
参加費：無料 対象：5歳程度～

●見て！知って！  
自分だけの個性豊かなクジラを作ろう！  
大芥エールウォッチング  
土佐湾に暮らしているニタリクジラは長さ12～14m、約40分1サイズのクジラを作っておうちで遊んでみよう！  
参加費：800円 定員：1日8名程度 対象：小学生～

●第36回Tシャツアート展に参加しよう！  
Tシャツデザインワークショップ  
特定非営利活動法人 NPO 砂浜美術  
36回目を迎える、「むらひらの風琴」にあなかも参加してみませんか？Tシャツアート展に参加して、ありのままの自分をもっと表現しよう！  
参加費：無料 定員：1回6名程度  
※Tシャツアート展に応募する場合は、応募料 5,500円が必要です。

●プラごみアート  
うみのこども  
カラフルな海洋プラスチックごみや流木を使って工作しよう！オリジナルの動物を作ります。  
参加費：500円 定員：15名（同時実行）対象：5-12歳程度

●四万十川の星づくり  
「羽球はく折り鶴」を作ろう！  
四万十川流域生態系ネットワーク推進協議会  
パタパタと羽球はく折り鶴をつくってみましよう！四万十川の周りに飛んで、春をさすくつるのこを楽しく学べよう。  
参加費：無料

●アニメとおもちゃづくり  
あにめのいろは  
高知市や木、クジラや鳥などをモチーフにして、いろいろなものを合わせてアニメにする「コトリ体積」と、とくる回すとモチとウラの輪がかわる楽しいおもちゃ「ソーマートロープ」を作ってみよう！  
参加費：100円

●かんたん楽しい！竹のおもちゃ作り  
公益財団法人 四万十川財団  
身近にある竹を使っておもちゃを作ります。マジックテープで飾りつけて自分だけの竹のおもちゃを作ってみませんか？  
参加費：無料

展示  
●令和5年度 高知「環境日記」作品展  
「未来につながる！わたしの推し♥」  
高知環境活動支援センター-えこ5ぽは、高知環境活動支援センターから応募のあった環境日記の全作品を展示します。  
高知県林業振興・環境部 自然共生課

●まもろう高知家 自然のなまたち パネル展  
高知県林業振興・環境部 自然共生課

特別コーナー  
●ちびっこ集まれ！木のおもちゃコーナー  
提供：公益財団法人 高知県森林と緑の会  
高知県の木でできたおもちゃで思いっきりあそぼう！

●ダンボール巨大迷路  
NPO 法人環境の杜の会  
エコ素材ダンボールを使った巨大迷路が登場！迷路に隠されたクイズに答えて出口をめざそう！

### 環境活動見本市in黒潮町2024 木エクラフトみほん



木いホルダーなど





ブースの様子



ブースの様子

幼・保児童や小学生の作品



農林水産省 四国森林管理局

四万十川森林ふれあい推進センター

高知県四万十市西土佐西ヶ方586番地2

電話0880-31-6030

FAX0880-31-6031

